



data for:
the future



大容量コンテンツ資産管理と、 スポーツ&エンターテインメント領域への価値創出

April 2017

NTT DATA

Global IT Innovator

NTTデータは、ICTを軸に、「新しい「しくみ」や「価値」を創造し、より豊かで調和のとれた社会の実現に貢献する」ことを企業理念として、社会インフラのみならず様々な分野においてソーシャルイノベーションの創出を推進しています。

特にわれわれの担当では、日本における大規模デジタルアーカイブシステムの構築等を通じて培った経験やノウハウをもとに貴重資産の保存、利活用に関する事業を推進し、社会・人類に対し、新たな価値を提供しています。

最近では、日本の公共機関におけるデジタルアーカイブシステムの構築を通じて培ったノウハウを元に、バチカン図書館様における約8万冊、約4千万ページに及ぶ手書き文献の長期保存事業や、2011年の東日本大震災における関連資料を収集・保存し、教育機関等での利活用を推進する事業も複数手掛けています。

「文化」の継承

バチカン図書館様／ デジタルアーカイビング事業

<http://digi.vatlib.it/?ling=ja>

約8万冊、約4千万ページに及ぶ手書き文献（マニスクリプト）の長期保存を目的とした事業。



「記憶」の継承

郡山市様／ 郡山震災アーカイブ

<http://shinsai.koriyama-archive.jp/>

東日本大震災に関連する資料を収集・保存し、教育機関等での利活用を推進することを目的とした事業。



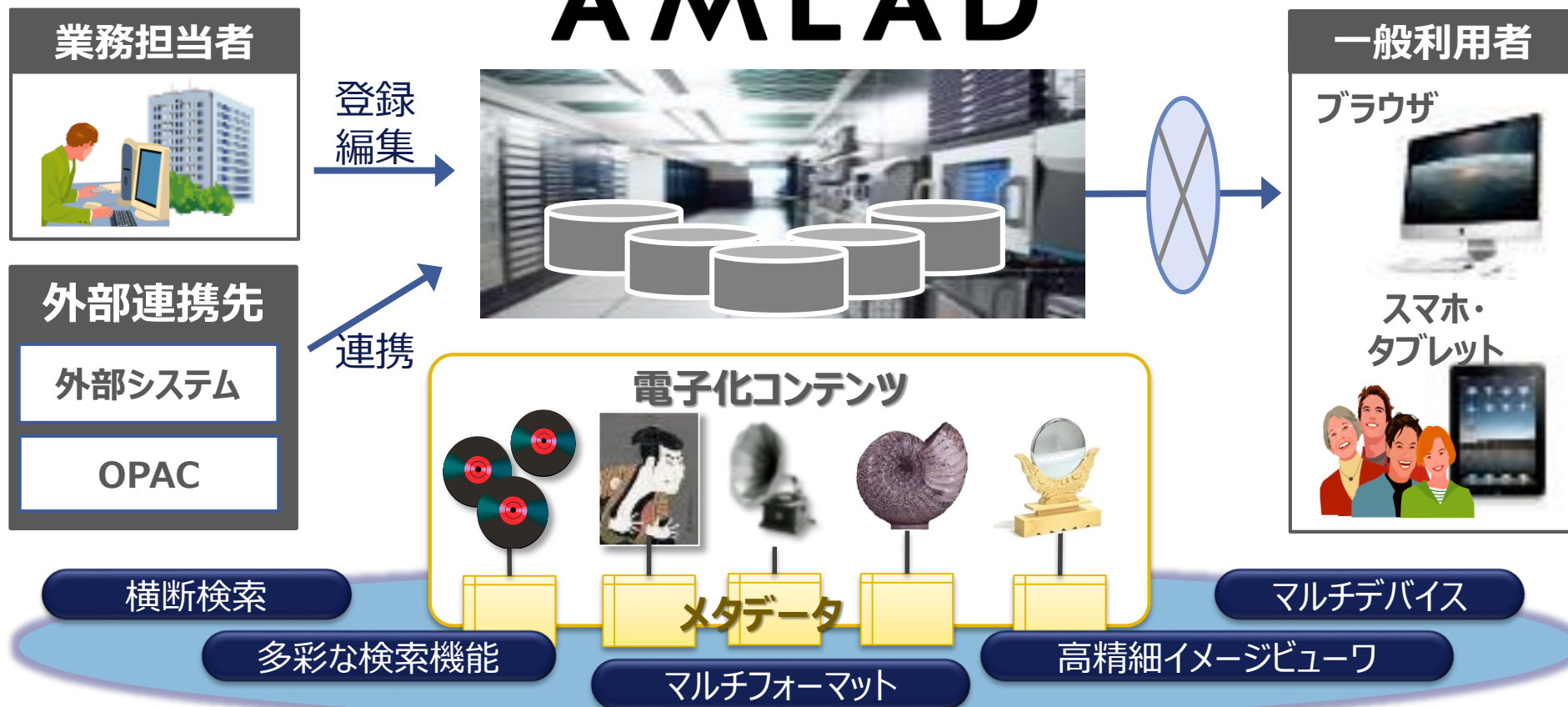
これまでのデジタルアーカイブビジネスで培ったノウハウの集積から生まれたソリューションが「**AMLAD®**」です。

AMLAD®は公共機関、企業や団体が保有する画像、動画、音声などのデジタルコンテンツをPCやタブレット、スマートフォンといったデバイスから簡単に閲覧・検索できるITソリューションです。

<http://www.amlad.jp/english/index.html>(英語版)

<http://www.amlad.jp/index.html>(日本語)

AMLAD



現在、AMLADをコアに、超臨場インタラクション技術をはじめとした最先端技術を駆使したユーザ体験を加えることで、DAコンテンツを活用した新たなビジネスとしてスポーツ・エンターテインメント・エデュケーション領域へ幅出しを行い、ビジネス拡大を目指しています。

スポーツ領域

ICT

設備&イベント管理システム
パブリックアドレス（放送設備）
チケットシステム
ビルマネジメントシステム



高精細映像配信システム
映像圧縮技術
Wifiマルチキャスト
コンテンツ配信課金



コンテンツ配信

AMLAD (Digital Archive)



デジタルアーカイブシステム
デジタルコンテンツ

DAシステム



eラーニングシステム
CBTシステム

教育

エデュケーション領域

エンターテインメント領域

エンターテインメント

デジタルサイネージ
展示AV、非展示AV
プロジェクションマッピング
AVサーバ&ストレージ



ヘッドマウントディスプレイ
4K/8K映像システム
3D超高精細映像
多感覚体感インタラクション



超臨場インタラクション

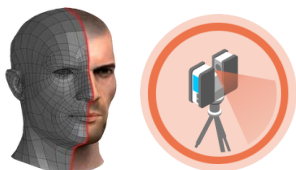
今回のコンテストにおいては、「大容量」となるであろう「**スポーツ領域**」及び「**エンターテインメント領域**」におけるコンテンツに関する資産管理へと活用が期待される技術等に関して募集したいと思います。

スポーツ領域

エンターテインメント領域

製作技術

- * 360度撮影技術
- * 3Dスキャン
- * VRコンテンツ制作
- * モデリング技術
- * オーサリング技術



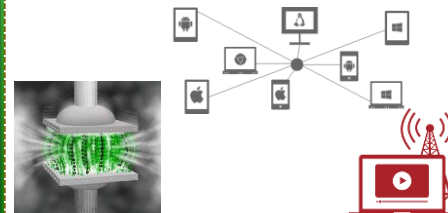
管理・処理・転送等技術

- * VR映像エンコード技術
- * リアルタイムエンコード技術
- * 大容量データ転送技術
- * コンテンツ管理技術
- * データ自動解析(AI)技術
- * メタデータタギング
- * 動画検索技術
- * 著作権管理技術



圧縮・配信技術

- * 可逆性圧縮技術
- * コンテンツ変換
- * セキュアコンテンツ生成
- * クロスプラットフォームAPI
- * リアルタイム配信 (ライブストリーミング)



アウトプットデバイス

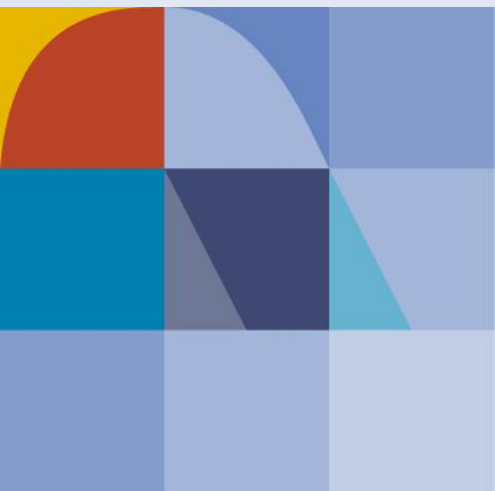
- * VR/ARアプリ
- * Web VR
- * 4K/8K
- * 超臨場感技術
- * デジタルサイネージ
- * SNS連携
- * 空間コミュニケーション



想定される活用技術等

上記に記載している「想定される活用技術等」以外の技術でも問題ありません。

大容量コンテンツを取り扱うための「Input技術」「管理技術」「配信技術」「Output技術」等々で「これは！」と唸らせる技術をお待ちしております！！



NTT DATA

Global IT Innovator

with innovator ! !